

広島市現代美術館 開館30周年記念特別展 「美術館の七燈」

美術館がまもるものと、美術館をまもるもの

広島市現代美術館は1989年(平成元年)、公立館としては国内初の現代美術を専門とする美術館としてオープンしました。その30周年を記念して全館を用いた特別展が開催されます。7つのキーワードによって館の歩みを振り返るとともに、美術館の果たすべき役割、そして活動を支えるさまざまな要素を改めてとらえ直します。

7つのキーワード

①「観客」

参加によって成り立つ表現

観客の働きかけや参加によって成立する作品を紹介



オノ・ヨーコ《ウィッシュ・ツリー・フォー・ヒロシマ》2011年

②「蔵とシンボル」

美術館建築と野外彫刻

建築家・黒川紀章による建物の魅力を幅広く紹介



③「ここ」

広島、ヒロシマ

重要なテーマである「場所」に焦点を当てる



アルフレド・ジャー《われらの狂気を生き延びる道を教えよ(ヒロシマのために)》1995年

④「残すこと」

作品の修復、コンサベーションの現在
美術館の重要な役割の一つ、作品の収集・保存事業について紹介



ナムジュン・パイク《ヒロシマ・マトリックス》1988年

⑤「積み重ね」

資料と関連作品による活動の記録

開館準備室が設置されてから現在までの歩みを紹介



開館告知
チラシ
1986年

⑥「(リ)サーチ」

探索と逸脱 田村友一郎による
新作インスタレーション

館建築や開館当時の時代に関するリサーチから生まれた新作展示



作家による参考イメージ

⑦「あいだ、隙間、その他」

隙間的スペースを活用した作品

館内空間を創造的に読み替えて展示した作品を紹介



飯川雄大《デコレータークラブプロジェクト
「衝動とその周辺にあるもの」》2017年

会期／3月9日(土)～5月26日(日)

休館／月曜日

ただし4月29日(月・祝)、5月6日(月・休)は開館、
5月7日(火)は休館。

開館／10:00～17:00(入場は閉館の30分前まで)

料金／一般1200円(1000円)、大学生900円(700円)、
高校生・65歳以上600円(500円)※中学生以下無料。

※()内は前売りおよび30名以上の団体料金。

※5月3日(開館記念日)全館無料。

※5月5日(こどもの日)高校生無料。

問／現代美術館 TEL.082-264-1121

読者プレゼント
(P.15に詳細)



文化情報マガジン

to youに、

あなたの企業や団体・サークルの
広告を掲載しませんか?

「to you」の発行部数は毎月18,000部。
広島市内の区役所、区民文化センター、ホール等の
公共施設や、ホテル、デパート、プレイガイド、ギャラリー、
金融機関等約600か所に広く無料配布しています。
イベントの告知などにご活用ください。
(版下データ作成のサポートもしています)
サイズ・料金:横18.2cm×縦5.4cm 21,000円～

詳細はお問い合わせください!

(公財) 広島市文化財団 事業課

TEL 082-244-0750

FAX 082-245-0246

Eメール bunka@cf.city.hiroshima.jp